

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【公開番号】特開 2019-12386 (P2019-12386A)
 【公開日】平成 31 年 1 月 24 日 (2019.1.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-003
 【出願番号】特願 2017-128308 (P2017-128308)
 【国際特許分類】

G 0 8 G 1/16 (2006.01)

B 6 0 W 50/12 (2012.01)

【 F I 】

G 0 8 G 1/16 C

B 6 0 W 50/12

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 8 月 7 日 (2019.8.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

自動運転車両 (M V) の制御装置 (1 0 0) であって、
 前記自動運転車両に自動運転を開始させるための信号であって、前記自動運転車両の外
 部から送信される外部開始信号、を受信する受信部 (1 1 0) と、
 自動運転のために必要な処理を行う制御部 (1 4 0) と、
 前記自動運転車両の車室内に人が存在するか否かを判定する人判定部 (1 2 0) と、を
 備え、
 前記制御部は、
 前記車室内に人が存在すると前記人判定部によって判定された場合には、前記受信部で
 前記外部開始信号が受信されても自動運転を開始せず、
前記車室内には、前記自動運転車両に自動運転を開始させるための単一又は複数の操作
を受け付ける操作部 (1 5 0) が設けられており、
前記制御部は、
前記車室内に人が存在すると前記人判定部によって判定された場合には、前記操作部へ
の操作が行われた場合にのみ自動運転を開始する制御装置。

【請求項 2】

前記自動運転車両に設けられたドア (1 7) の開閉状態を検知するドア状態検知部 (1
 6 0) を更に備え、
 前記制御部は、
 前記操作部への操作が行われた場合であっても、前記ドアが開状態であることが前記ド
 ア状態検知部によって検知された場合には自動運転を開始しない、請求項 1 に記載の制御
 装置。

【請求項 3】

前記ドアに設けられた窓ガラス (1 8) の開度、を検知する窓開度検知部 (1 7 0) を
 更に備え、
 前記制御部は、
 前記操作部への操作が行われ、且つ前記ドアが閉状態であることが前記ドア状態検知部

により検知された場合であっても、前記窓開度検知部によって検知された前記窓ガラスの開度が所定開度よりも大きい場合には自動運転を開始しない、請求項2に記載の制御装置。

【請求項 4】

前記操作部は、

前記自動運転車両の外部にいる人が、少なくとも一部の操作を行うことができないように構成されている、請求項1乃至3のいずれか 1 項に記載の制御装置。

【請求項 5】

前記自動運転車両に設けられたドアの開閉状態を検知するドア状態検知部を更に備え、

前記操作部への操作が行われた後、前記ドアが開状態となったことが前記ドア状態検知部によって検知された場合には、前記制御部は自動運転を制限する、請求項1乃至4のいずれか 1 項に記載の制御装置。

【請求項 6】

前記自動運転車両に設けられたチャイルドシート（19）における人の存在を検知するシート状態検知部（180）を更に備え、

前記チャイルドシートに人が存在することが前記シート状態検知部によって検知され、且つ前記車室内にはそれ以外の人が存在しないと前記人判定部によって判定された場合には、

前記制御部は、

前記受信部で前記外部開始信号が受信された場合、及び、前記操作部への操作が行われた場合、のいずれにおいても自動運転を開始しない、請求項1乃至5のいずれか 1 項に記載の制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本開示に係る制御装置は、自動運転車両（MV）の制御装置（100）であって、自動運転車両に自動運転を開始させるための信号であって、自動運転車両の外部から送信される外部開始信号、を受信する受信部（110）と、自動運転のために必要な処理を行う制御部（140）と、自動運転車両の車室内に人が存在するか否かを判定する人判定部（120）と、を備える。制御部は、車室内に人が存在すると人判定部によって判定された場合には、受信部で外部開始信号が受信されても自動運転を開始しない。車室内には、自動運転車両に自動運転を開始させるための単一又は複数の操作を受け付ける操作部（150）が設けられており、制御部は、車室内に人が存在すると人判定部によって判定された場合には、操作部への操作が行われた場合にのみ自動運転を開始する。